

保護者 様

「令和2年度学校経営計画」について（お知らせ）

「治にいて乱を忘れず」とは、平和な時にも常に非常事態を想定し、決して準備を怠らない。また、非常の時にもなお、乱れることなく、浮かれることなく、平常心を保つ。そういう心の持ち様を表した言葉です。無事令和2年度をスタートさせることができたと思っただけの間、再度、臨時休業の措置がとられたこの状況にぴったりの言葉のように思われます。

しかし、実際、その場に身を置いてみると、この先の学校再開のこと、授業の進捗のこと、進路選択のこと、部活動のこと、食生活や毎日の生活リズムのこと、これから1年間の見通しのこと、各ご家庭のこと・・・様々な課題や不安が頭に浮かび、生徒にとっても保護者の皆様にとっても「平常心」であり続けることは、とても難しいことのように思えます。

我々職員もまた「平常心」というわけにはいきません。昨年度末からの臨時休業に引き続き、生徒のいなくなった学校はまるで灯の消えたような寂しさです。しかし、気を取り直し、生徒たちが再び登校したときのために、遅れた学習や学校での生活リズムを取り戻すための方策、あるいは進路選択や部活動再開時の支援等、最善を尽くして準備を進めているところです。

さて、例年PTA総会の折、本年度の学校経営計画についての説明をしておりますが、昨今の状況に鑑み、本年度はPTA総会資料並びにホームページ上のご案内とさせていただきます。臨時休業等を挟み、なかなか計画通りに進まないもどかしさも抱えていますが、以下の1～4の事項を大切にしながら、生徒の「心」と「身体」そして「学び」を支えていきたいと思っております。非常時の逆境の中にも、生徒たちが学ぶことは無限にあると心得、様々に工夫して参りますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

- 1 「どうやるべきか」の前に「どう在るべきか」を大切にする。～そのための計画～
- 2 学校経営ビジョン（本年度の目標）

一人一人が感動する学校づくりを基調に、学校・家庭・地域・小学校との密接な連携の下、旭中ならではのキャリア教育を核とした学校づくりを推進し、確かな学力の定着と豊かな心を育み、激変する社会で生き抜く、自信と誇りに満ちた生徒を育成する。

- 3 目指す学校像（校風の確立）～ 生徒の自己実現と教師の資質・能力向上の姿 ～
→ 目指す生徒像、目指す教師像、目指す保護者像

生徒の明るく元気に弾んだ声と教師の自信に溢れた声が響き合う学校

- 4 具体的な方策として ～ 4つの柱 ～

① 学力向上 ② 心の教育 ③ 健康・安全・体力 ④ 夢・自信・誇り

※ 詳細は「学校経営計画」をご覧ください。

※ なお、本年度は、各種説明会や会合等の開催が困難なため、ホームページの充実
に努めます。学校の様子はもとより、学校からの各種案内や通信等を掲載して
おりますので、是非ともご活用ください。

令和 2年 5月 1日
旭中学校 校長 池野 宗宏